

課題名 待機的腹腔鏡下胆嚢亜全摘術後の術後胆石所見に関する検討
—断端処理法との関連を中心に—

当院の研究責任者 (所属)	宇田川大輔 (栃木医療センター 外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	胆嚢亜全摘術 (subtotal cholecystectomy : SC) は困難胆嚢に対する胆管損傷回避を目的としたbailout procedureとして広く施行されている。一方で、SC後の術後胆石所見については十分な検討がなされていない。 本研究では、待機的腹腔鏡下SC症例を対象として、術後MRCPまたはCTを用いて術後胆石所見を評価し、その頻度および断端処理法との関連について検討することを目的とする。
研究期間ならびに 研究対象となる期間	研究期間：許可日から2027年12月31日まで 調査対象期間：2024年1月1日から2026年6月30日まで
研究の方法 (使用する試料等)	●対象患者 2024年1月1日から2026年6月30日までの間に栃木医療センターで待機的腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行され、胆嚢亜全摘術を受けた患者 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する
試料/情報の 他の研究機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究への診療情報提供を希望されない方は、下記までご連絡ください。 電話：028-622-5241(代) 担当者：宇田川大輔（栃木医療センター外科）